

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

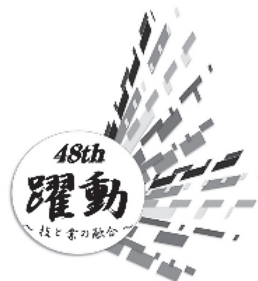
## 第48回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：令和2年12月6日(日)

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：躍動

サブテーマ：～『技』と『業』の融合～



学会公式LINE  
アカウント

第48回埼玉県医学検査学会  
会計 武藤 由里子

学会開催まで1ヶ月を切りました。学会実行委員会も大詰めとなってきていますがCOVID-19の影響によりWeb会議を取り入れながら、会員の皆様のスキルアップに繋がる様な学会を目指すため、実行委員と学会担当理事が力を合わせて努力しております。

さて今年度の学会は、COVID-19の影響により学会も皆様のご協力を得ながら開催することが重要になってきます。そのため何度もしつこいようですが学会より下記の内容にご協力ご理解をお願いいたします。

### 1 事前登録をお願いいたします

今年度は研修会と同じように事前登録が必須となります。第48回埼玉県医学検査学会ホームページの「事前参加登録」のタブにある日臨技システムJAMTISにアクセスし参加登録を行っていただきます。事前登録のない方は参加できませんのでご注意ください。**事前登録受付は2020年11月1日(日)～12月6日(日)**の期間となります。(参加人数に空きがあれば当日でも登録出来ます。「学会当日だけ行きたいな」と思う方は是非登録人数を確認してからの登録参加をお願いいたします。)

Web公募390人+郵送募集10人の合計400人で締め切りとなります。詳しくは埼玉県臨床検査技師会ホームページにてご確認ください。

### 2 COVID-19拡大防止について

- ①総合受付会場(4F市民ホール)へ入室する際に、ロビーにて検温を行いますのでご協力をお願いいたします。もし**発熱が認められた場合、入場をお断りすることがあります。**
- ②来場者の**マスク着用を必須とし、マスク着用のない参加者には参加をお断りすることがあります。**
- ③学会参加者・関係者・運営スタッフは『埼玉県LINEコロナお知らせシステム』の登録をお願いいたします。(学会当日受付会場にQRコードを掲示いたしますので読み込んでいただき登録してください。)
- ④各会場において、開催施設が定める定員数に従い入場制限を行います。
- ⑤会期中発熱者・体調不良者が出た場合は、指定の場所(学会中準備してあります)において待



また、抄録作成について、文字の大きさやフォント、配色などの基本的内容から演題タイトル決めのコツ、目的や方法の記載内容に対しての注意点、検討結果評価の落とし穴など安田氏の経験に基づいてのノウハウをお話しされた。  
(文責：大出淳)

## テーマ 輸血に影響を及ぼす諸反応の臨床と検査

主催 輸血検査研究班

実施日時：令和2年9月18日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科－20点

講師：小原 佑太（戸田中央総合病院）

白幡 繁（株式会社イムコア テクニカルサポート部）

参加人数：会員47名 賛助会員3名

出席した研究班班員：久保居由紀子 宮澤翔子 小原佑太 岸健太

研修内容・感想など

今回は輸血に影響を及ぼす諸反応の臨床と検査として、2部構成で行われた。

講演1は、小原氏による『日当直で困らないために聞いておきたい輸血検査の知識』の講演であった。症例形式で異常反応が出た時の検査の進め方や臨床への報告、緊急時の製剤選択および在庫血不足時の臨床と血液センターの対応等に関する内容であった。施設によって、検査の範囲や血液製剤の在庫数はまちまちであるが、限られた環境の中で輸血を準備しなくてはならない。そのためにも、十分な知識と院内ルールの構築、さらに臨床とのコミュニケーションは必須である。講演1では症例形式で進められ、より一層イメージしやすく今後のルーチンワークにも活かせる内容であった。

講演2は、白幡氏による『問題解決用試薬について』の講演であった。輸血の準備に苦慮するDAT陽性時の対応について説明があり、さらに問題解決用の各試薬に関して操作方法や特徴などお話があった。

参加者がルーチンや日当直で異常反応に出くわした時に、「わからない」ではなく少しでも何らかの問題解決方法を自ら導き、スムーズな輸血検査業務を行えることを期待する。

(文責：久保居由紀子)

## テーマ 便検査について学ぶ!!

主催 一般検査研究班

実施日時：令和2年9月23日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 906号室 点数：専門教科－20点

講演1：便潜血検査の重要性

講師：岡田 茂治（埼玉県立大学 保健医療福祉学部）

講演2：便中カルプロテクチンについて

講師：大村 稔（アルフレッサファーマ株式会社）

講演3：誰でもできる!! 便中好酸球検査のポイント

講師：室谷 明子（埼玉医科大学国際医療センター）

参加人数：会員43名 賛助会員4名

出席した研究班班員：藤村和夫 室谷明子 小関紀之 柿沼智史 佐々木菜緒 渡邊裕樹

中川禎己 小針奈穂美

研修内容・感想など

今回の研修会は便検査をテーマに開催した。

講演1では、岡田氏による正しい採便の仕方から大腸がんの概要・治療法までを幅広く、「便潜血検査の重要性」についての講演であった。特に大腸がん検診における便ヘモグロビン濃度のカットオフ値について、ROC曲線の感度・特異度から解析した結果、およそ180ng/mLとの報告が紹介され、各検査機関においてのカットオフの設定に関する問題点を改めて認識した。

講演2では、大村氏による「便中カルプロテクチン」についての講演であった。潰瘍性大腸炎は、寛解と再燃を繰り返し、その結果、病状の悪化や癌のリスクが高くなると言われている。カルプロテクチンを検査することで腸内の炎症を正確で、簡便に評価することが可能であり、

再燃の予兆を発見できるとも有用な検査であると思えた。

講演3では、室谷氏による「誰でもできる！便中好酸球検査のポイント」についての講演であった。便中好酸球検査は小児のアレルギー性腸炎の診断に重要な検査である。便中好酸球の検出率を上げるポイントは、便を希釈後にろ過作業を追加することが重要とのことであった。室谷氏の施設ではこの作業を追加したことにより、大きく検出率が上昇したとの報告があった。今回の研修会で改めて、便検査の重要性を再認識させられた。(文責：藤村和夫)

## テーマ ～ アンケート調査報告とフォトサーベイ解説 ～

主催 病理検査研究班

実施日時：令和2年9月25日 19時00分～21時00分

会場：浦和コミュニティセンター 第13集会室 点数：基礎教科－20点

講演1：「ホルマリンおよびキシレン対策に関するアンケート調査報告」

講師：関口 久男（済生会栗橋病院）

講演2：「フォトサーベイを振り返る ～迷った問題から学ぶ～その①」

講師：小島 朋子（自治医科大学さいたま医療センター）

講演3：「フォトサーベイを振り返る ～迷った問題から学ぶ～その②」

講師：細沼 佑介（埼玉医科大学国際医療センター）

講演4：「フォトサーベイを振り返る ～迷った問題から学ぶ～その③」

講師：三鍋 慎也（防衛医科大学校病院）

参加人数：会員35名 賛助会員1名

出席した研究班班員：岡村卓哉 関口久男 森田繁 細沼佑介 高橋俊介 今村尚貴  
小島朋子 谷内里穂 三鍋慎也

### 研修内容・感想など

平成19年の特定化学物質障害予防規則等の改正から10年余りが経過し、この間、病理検査研究班では県内施設におけるホルマリンおよびキシレン対策の実態を把握すべく、アンケート調査を2回実施してきた。今回の研修会では、昨年実施した3回目の調査結果の報告と、過去のフォトサーベイで正答率の低かったものについて解説を実施した。

講演1は、関口氏よりホルマリンおよびキシレン対策に関するアンケート調査報告があった。ホルマリン作業環境測定の実施数、第1管理区分であった割合、特定化学物質作業主任者の設置数等に関して、前回(平成27年)とのデータを比較し、いずれも増加がみられ、作業環境の改善が図られていることが推察された。

講演2では、小島氏から顎下腺および虫垂のマイクロ画像フォトサーベイについて提示があった。それぞれの臓器について解剖学的あるいは組織学的な特徴を他臓器との比較を交えながら、わかりやすく解説された。

講演3では、細沼氏から濾胞性リンパ腫、GIST、結腸スピロヘータの免疫染色やワルチンスターリー染色について解説された。実際の染色手技に関する質問もあり、現場で使えるヒントが得られたのではないかと思われる。

講演4では、私、三鍋がマクロ写真撮影に関するフォトサーベイについて解説した。写真撮影時におけるカメラの絞り値による撮り像の変化を供覧し、マクロ撮影を行う際のベストなカメラ設定等を示した。

作業環境の改善傾向がみられたことは非常に喜ばしいことである。病理検査研究班としても、様々な情報提供が行えればと考えている。また、フォトサーベイは精度管理の一貫として行われているが、そこから学ぶべきことも多く含まれている。今回の研修会内容を、今後の業務に生かしていただくと幸いである。(文責：三鍋慎也)

## テーマ 生理検査研究班CD-ROM画像サーベイ2019報告会

主催 生理検査研究班

実施日時：令和2年10月3日 13時30分～16時40分

会場：鴻巣市市民活動センター 会議室A 点数：専門教科－20点

報告1：心電図

- 報告 2：乳腺超音波  
 報告 3：心臓超音波  
 報告 4：血管超音波  
 報告 5：乳腺超音波  
 報告 6：脳波・神経伝導  
 報告 7：呼吸機能  
 報告 8：アンケート  
 講師：2019年度生理検査研究班員  
 参加人数：会員26名  
 出席した研究班班員：家城正和 早川勇樹 瀧澤義教 高梨淳子 武藤由里子 小宮山英幸  
 南雲涼太 野村和弘 横尾愛

#### 研修内容・感想など

今回のCD-ROM画像サーベイ報告会から試験的に事前参加申し込み制とし、報告会参加施設のみ解説版CD-ROMをお渡しすることとした。（正解は研究班HPに掲載）コロナウイルス感染拡大の影響もあり、参加申し込み方法の変更等があったにもかかわらず、比較的多くの会員の参加があった。

設問の中には難問もあったようで、正解率の低い問題も見られたが、出題の意図の説明もあり、参加者の皆さんは熱心に解説を聴講していた。会場からの質問はほとんどなかったが、研究班員各施設での感染対策についての話もあった。各施設の感染対策や検査方法の工夫、今後の課題を見出しているところもあり、長期的な視野で考えていかなくてはならない検査の感染対策についても熱心に耳を傾けていた。

アンケートに記載されたサーベイ作成に関する様々な意見を参考に、今後、設問を作成したいと思った。

今回のCD-ROM画像サーベイ報告会の解説内容が皆様の今後の業務の一助となれば幸いです。（文責：横尾愛）



## Web研修会開催における 会員のメールアドレスの確認について

学術部

2020年12月より各会場での研修会に加え、Zoomを使用したオンライン研修会も開催してまいります。オンライン研修会へのおおまかな参加手順は以下となります。

- ①日臨技ホームページより参加希望研修会へ事前参加申し込みをします。
- ②事前参加申し込みをされた会員へ、参加に必要な研修会URL・ID・パスワードをメールにて送付します。
- ③研修会当日URL・ID・パスワードを入力し研修会へ参加します。

会員の皆様には、

日臨技システムへ登録されているメールアドレスが有効であるか

(現在ご使用になられていて内容を確認可能なメールアドレスであるか)

を今一度ご確認いただければと思います。メールにて送信される研修会URL・ID・パスワードがわからない場合、事前参加申し込みをされても研修会へ参加することができません。登録メールアドレス確認手順は、下記をご参照ください。

この件につきまして、ご質問等は、公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会（メール：[sairingi@sairingi.com](mailto:sairingi@sairingi.com)）までお問い合わせください。

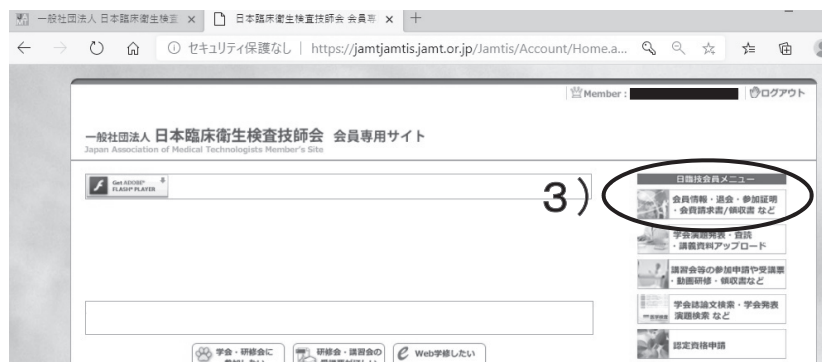
よろしくお願い申し上げます。

## 日臨技システムへ登録しているメールアドレス確認手順

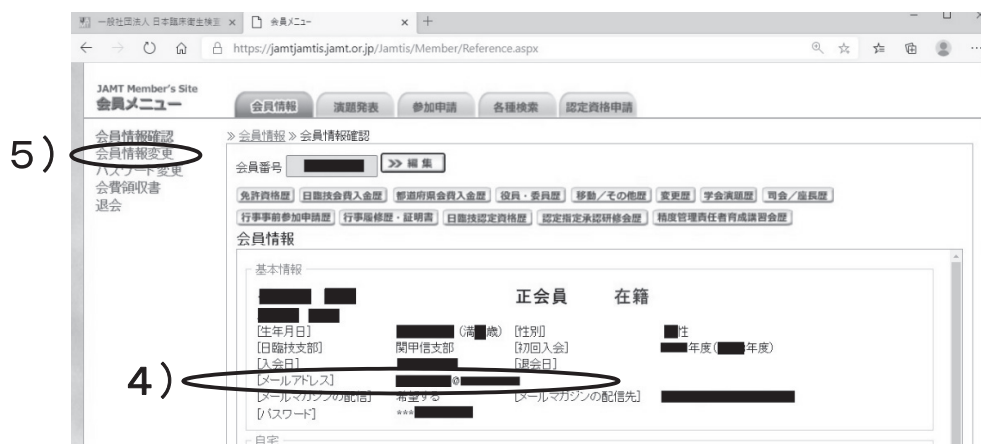
- 1) 日本臨床衛生検査技師会ホームページ <http://www.jamt.or.jp/> へアクセスします。
- 2) 『会員専用ページ』 から会員専用サイトへ入ります (会員番号・パスワードが必要です)。



- 3) 日臨技会員メニューの『会員情報・退会・参加証明・会費請求書/領収書など』をクリックします。



- 4) 会員情報確認ページへ移行するので、ご自分の「メールアドレス」を確認します。
- 5) 変更したい場合は、会員情報変更ページへ移り、変更後、保存します。



## 令和3年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会中止のお知らせ

令和3年1月8日(金)ラフレさいたまにて予定していました賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会は、COVID-19の感染拡大防止の観点から中止することとなりましたので、お知らせいたします。

**令和2年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第9回 理事会議事録**

日時：令和2年10月8日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事) 神山 矢作 松岡 猪浦 小山  
濱本 長澤 山口 神嶋 菊池  
松尾 笹野 塚原 松寄 石井  
神戸 長岡 久保田 長谷川  
阿部

(監事) 遠藤 細谷

欠席：(理事) 伊藤 飯野

本日の理事会の出席者は22名であった。理事の出席者は20名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

#### Ⅰ. 行動報告(令和2年9月10日～令和2年10月7日)

9月10日(木) 令和2年度第8回理事会：

神山、矢作、松岡、猪浦、小山、濱本、長澤、山口、神嶋、松尾、伊藤、笹野、塚原、松寄、石井、神戸、阿部、長岡、久保田、飯野、長谷川、遠藤、細谷

9月12日(土) 令和2年度埼玉県医師会精度管理調査試料発送作業：

神山、矢作、松岡、小山、山口、石井、神戸、長岡、阿部、長谷川、塚原

9月14日(月) 浦和コルソ打合せ：長澤、伊藤

9月18日(金) 第48回埼玉医学検査学会第12回実行委員会：猪浦、石井、神嶋、飯野

9月19日(土) 日臨技診療報酬対策委員会：神山

10月3日(土) ZOOM会議導入における確認会議：  
神山、猪浦、矢作、小山、濱本、長澤、伊藤、石井、長岡、阿部

#### Ⅱ. 報告事項

##### 1 事務局

1) 9月16日(水)、埼玉県医療整備課より、第64回埼玉県公衆衛生大会の開催案内が送付された。当会より来賓として神山清志会長の出席を回答した。

2) 9月23日(水)、蕨市保健センターより、令和2年度健康まつり実施可否の書面結果が送付された。これを受け、9月25日(金)蕨市保健センターに返答書を送付した。

3) 9月30日(水)、公益法人インフォメーションより、令和元年度事業報告の補正依頼が通知された。

##### 2 総務部

1) 「埼臨技だより」第497号10月15日(木)発行予定。

##### 3 事業部

1) 9月14日、全国検査と健康展の打合せのためコミュニティプラザ・コルソ浦和商業開発株式会社と打ち合わせを行った。(別紙資料1)

##### 4 学術部

1) 大宮ソニックシティでの研修会用等に使用するHDMIケーブルを購入した。

2) 第48回埼玉県医学検査学会抄録審査を査読委員と研究班長にて実施中。

3) 12、1月研修会においてWeb環境での研修会を受け付けた。

4) 生涯教育プログラム12月1月分をだよりに同封予定。

##### 5 精度保証部 特になし

##### 6 会計部

1) 令和2年度正会員費 14名70,000円、入金金13名分13,000円、再入金金1名分1,000円、合計84,000円の入金があった。

2) 日臨技より生涯教育推進事業研修会助成金46,000円×2、合計92,000円の入金があった。

3) 石井印刷へ、埼臨技だより第496号の印刷代56,848円を支払った。

##### 7 精度管理委員会

1) 9月12日(土)、令和2年度埼玉県医師会臨床検査精度管理調査の試料を発送した。

2) 令和2年度埼玉県医師会臨床検査精度管理調査の回答〆切を9月30日迄延長した。

3) 令和2年度埼玉県医師会臨床検査精度管理調査の速報値はWebにて公開する。

##### 8 一都八県会長会議 特になし

##### 9 日臨技関甲信支部 特になし

##### 10 日臨技

1) 日臨技診療報酬対策委員会が9月19日(土)に開催され、各都道府県から協力を得た診療報酬の加点・増点要望のアンケートについて取りまとめを行った。協力いただいた方々に深謝申し上げる。

##### 11 第48回埼玉県医学検査学会

1) 9月18日、第48回埼玉医学検査学会第12回実行委員会が開催された。(別紙資料2, 3)

2) 優秀発表賞の審査は、抄録による事前審査と会場責任者による当日審査とする。

#### Ⅲ. 承認事項

##### 1 事務局

1) 会員動向(令和2年度分)

令和2年10月1日現在  
 会員数 3,255名[令和元年度会員数3,144名]  
 (新入会員 209名)  
 賛助会員 78社[令和元年度 81社]  
 承認された。

2) 埼臨技事務所年末年始休暇について  
 令和2年12月29日(火)より令和3年1  
 月4日(月)までとしたい。  
 承認された。

- 2 総務部 特になし
- 3 事業部 特になし
- 4 学術部 特になし
- 5 精度保証部 特になし
- 6 会計部 特になし
- 7 精度管理委員 特になし
- 8 第48回埼玉県医学検査学会

- 1) メーカー協賛について  
 日臨技学会において総合受付の飛沫防止  
 アクリル板をメーカーが提供していたこと  
 を受け、埼玉県学会においても貸与の場合、  
 メーカー協賛として受け付けることが承認さ  
 れた。
- 2) 次年度学会の実行委員について (別紙資料  
 4)  
 上記の件について神嶋学会担当理事より、

資料をもとに説明があり審議の結果、承認  
 された。なお、10月30日に開催する第1回  
 実行委員会において、神山会長が実行委員  
 の委嘱状を授与する予定。

IV. 議題

- 1 事務局 特になし
- 2 総務部 特になし
- 3 事業部 特になし
- 4 学術部

1) 今後の研究班研修会運用 (ZOOM使用) に  
 ついて

上記の件について、長岡学術部長より資  
 料をもとに説明があり、審議の結果、研修  
 会および会務にZOOMを使用することが賛  
 成多数で承認された。なお、ZOOMの運用  
 方法の細部については引き続き学術部で検  
 討することとした。

- 5 精度保証部 特になし
- 6 会計部 特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を  
 謝して閉会とした。



埼臨技事務所の年末年始休暇について

令和2年12月29日(火)～令和3年1月4日(月)

上記期間は埼臨技事務所がお休みになります。

1月5日(火)より通常業務となります。

あ と が き

この度のCOVID19拡大のため、皆様におかれましても大変な思いをされていることと思  
 います。実生活においても“自粛”続きで様々なイベント等が中止を余儀なくされていま  
 す。その中の1つに“マラソン大会”があり、大会の行われる時節となりましたが、東京マラ  
 ソンの一般参加中止を期に軒並み中止が続いています。

“マラソン”は42.195kmを走る長距離走の競技です。“マラソン”の名は古代ギリシャの  
 “マラトンの戦い”に由来します。42.195km(26マイル385ヤード)の競技距離が統一された  
 のは1924年の第8回パリオリンピック以後であり第4回ロンドンオリンピックの走行距離を  
 採用されたものです。半端な数字の距離(385ヤード)は、ロンドンオリンピックの時の王  
 妃が「スタートは宮殿の庭で、ゴールは競技場のボックス席の前」と注文した為という逸  
 話もあるそうです。

“自粛生活”の中、運動不足解消にウォーキングやジョギングを始める方が増えつつある  
 と聞きます。“マラソン大会”再開の期には、挑戦してみたいはかがでしょうか。

(松寄 記)

